

ばんだね脳神経外科 NP 専門研修プログラム

1. 目的

本プログラムは、脳神経外科診療に必要な知識、判断力、技術を、日常診療の中で実践的に修得するための専門臨床研修である。

病態把握と判断、安全確実な手技を身につけ、医師の包括的指示のもと、脳神経外科診療において適切に役割を果たすことができる診療看護師（NP）の育成を目的とする。

2. 基本方針

本プログラムは、NP の三本の柱である「協働」「分業」「職務間連携」を基本として運用する。

協働	脳神経外科医と共通の医学的理解を持ち、病態把握、術前準備、術中補助、術後管理に参画し、診療の質と安全性の向上に貢献する。
分業	医師の包括的指示のもと、病棟管理、周術期管理、特定行為等を適切に担い、継続性と効率性のある診療体制を支える。
職務間連携	医師、看護師、リハビリテーション、薬剤部、医療ソーシャルワーカー等と連携し、患者中心の円滑で質の高いチーム医療を実践する。

3. 対象

修士課程および NP 基礎研修を修了し、当院脳神経外科診療に従事する診療看護師（NP）を対象とする。

4. 研修期間

本プログラムは、およそ1年間を目安として実施する。なお、各研修項目の修得状況には個人差があるため、到達度に応じて柔軟に進める。

5. 主な研修内容

- ・病態把握と判断
- ・病棟管理
- ・特定行為・直接指示下の医療行為
- ・術中補助
- ・診療記録・多職種連携
- ・教育・研究

6. 到達目標

各研修項目について、医師の指示のもと安全に実施できることを目指す。

脳神経外科 NP として、以下の実践を安全かつ適切に行うことを到達目標とする。

- ・病態把握と緊急性判断ができる。
- ・神経学的評価、病棟管理、術前・術後管理ができる。
- ・特定行為および直接指示下の医療行為について、安全に実施または補助ができる。
- ・脳神経外科手術の術中補助ができる。
- ・適切な診療録記載、安全管理、多職種調整ができる。
- ・学会発表、論文投稿、教育活動に参画できる。

7. 指導体制

プログラム責任者：加藤庸子 教授

脳神経外科指導医および NP が連携して指導を行う。

- ・解剖・周術期管理・脳外科救急：小松文成 教授、木原光太郎 助手
- ・開頭手術：山田康博 准教授、田中里樹 講師、大久保麻衣 (NP)
- ・血管内治療：田邊淳 准教授、片山朋佳 (NP)、伏屋知里 (NP)
- ・特定行為：大久保麻衣 (NP)、片山朋佳 (NP)、伏屋知里 (NP)

8. 主な到達項目

【病態把握と判断】

- ・画像所見に基づく緊急性判断と報告
- ・神経症状変化の把握

【病棟管理】

- ・神経学的評価と記録
- ・術前・術後管理

【特定行為・直接指示下の医療行為】

- ・清潔操作、皮膚縫合
- ・抜糸・抜鉤
- ・シャント圧調整

【術中補助】

- ・ 脳神経外科手術の術中補助

【診療記録・多職種連携】

- ・ 適切な診療録記載
- ・ 多職種調整と業務改善

【教育・研究】

- ・ 学会発表または論文投稿
- ・ 若手 NP への教育
- ・ 教育活動への参画

9. 到達度評価の考え方

詳細な到達度の確認は、到達度チェックリストに基づき行う。

各項目について、知識・判断・技術・安全性を総合的に確認し、医師の指示のもと安全に実施できることを目標とする。